

## まちの将来像（ビジョン）作成の全体像について

### まちの将来像（ビジョン）とは

- **地区の住民、地区内で活動する団体等が集まり、地区でやりたいこと、やり続けたいことなどを整理しながら、実現したい将来のまちの姿としてとりまとめたもの**
- 市民がビジョン作成に取り組みやすくするために、ビジョンのテンプレートを用意し、短期間かつ少ない負担感で作成できるようにする。  
※まちの魅力向上を前提とした将来像とする。  
※街づくりプロジェクトを後押しするツールとなる。



### まちの将来像（ビジョン）作成のねらい

地区の住民や活動団体同士のつながりづくりができる場を設定し、そこでお互いの活動内容を情報交換するとともに、今後地区でやりたいこと、目指したいことについても考えてもらいビジョンを作成する。  
そうしたプロセスを通じて団体同士や地区とのつながりづくりを促進させ、地区の街づくり活動がさらに活性化していくことを目指す。

### まちの将来像（ビジョン）作成のメリット

#### <地区住民・活動団体>

- ・地区内の多様な活動の様子を知ることができ、自分がやりたいことにアクセスしやすくなる
- ・それぞれの思いを知ることで人と人や団体同士のつながりが生まれ、相互に連携や協力がしやすくなり活動が発展する。新たな取組みも生まれる
- ・地区全体の街づくりの方向性が共有できる

#### <市>

- ・これまでに比べるとより細かな単位で、地区の住民等が考える街づくりの方向性を明確にできる
- ・市民の具体的な活動に基づいた新たな都市づくり施策の検討につなげることができる

### 作成するビジョン（テンプレート）のイメージ

- ・ビジョンは、地区の住民、地区内で活動する団体等と市が協働で作成する。
- ・ビジョンの一部を切り出したものは、『(仮称)都市づくりのマスタープラン（地区別パート編）』に位置付けられる。
- ・検討にあたっては、「取組みたい具体的な内容」など、住民等が意見を出しやすい具体的な内容から話し合いを始め、そこから目標や方針などの抽象的な内容を考えていく。

#### 「まちの将来像（ビジョン）」

地区の住民や活動団体等と市で話し合いながら、地域の将来像（ビジョン）としてとりまとめ

名称	ビジョンの名称
対象区域	ビジョンの区域
目標	目標とするまちの将来像
方針	目標を実現するための街づくりの方針

例) ○ゆとりのある良好な住環境を守っていきます。  
○緑豊かな環境を守っていきます。 など

#### (仮称)都市づくりのマスタープランに位置付けられる部分

「ビジョン」のうち「名称」「目標」「対象区域」「方針」を切り出したもの

名称	ビジョンの名称
対象区域	ビジョンの区域
目標	目標とするまちの将来像
方針	目標を実現するための街づくりの方針

ビジョンの一部(赤枠部分)を切り出す

### 取組みたい具体的な内容

地区でやりたい活動、やり続けたい活動を記載

- 例)
- ①空き家を住民で管理して子どもや高齢者の居場所をつくっていききたい。
  - ②地域の憩いの場となる公園の管理を住民でルールを作って運用していきたい。



### ビジョンの検証・見直しの考え方

ビジョンの内容を検証・見直しするタイミング等の考え方について記載

『(仮称)都市づくりのマスタープラン（地区別パート編）』へ位置づけ

市ホームページで公開

### まちの将来像（ビジョン）の要件

- ・内容が(仮称)都市づくりのマスタープラン全体ビジョン編の実現を図ること
- ・地形・土地利用の特徴や、コミュニティの単位・活動団体の活動エリア等を踏まえた区域設定
- ・地区の魅力向上を前提とした内容
- ・ビジョン作成について適宜周知や説明会などを行い、地区内でおおむねの合意形成がされている
- ・市民が主体的に行うまちづくりという観点で作成されている

市ホームページで公開

## まちの将来像（ビジョン）の作成プロセス

- ・ビジョンは地区の住民や地区内で活動する団体等と市が協働で作成する。
- ・つながりづくりの場への参加を呼びかけ、ビジョンを作成し、それを（仮称）都市づくりのマスタープランに位置付けるまでの標準の作成プロセスを下記に示す。

